

指導案

1. 単元名 「自分の一日を紹介しよう」(第6学年)

2. 単元設定の理由

- 本学級の児童は、5年生のときに15時間中8時間をGTと一緒に外国語活動をしてきた。6年生では、年間25時間中12時間をGTと活動を行うよう計画している。

1学期は、英語ノート2を使って、L1, L2, L3, L4において電子黒板を利用し、ゲームや歌を楽しみながら、アルファベットや動物、数詞、誕生日、できることなど身近なものを英単語で言う活動をした。場面に応じた簡単な英語表現を使ってコミュニケーションをとったりする活動も行っている。また、4月の家庭科「生活時間を見直そう」において、自分の一日の過ごし方について振り返る経験もしている。

友達にインタビューしたり英語表現を使ってゲームしたりすることを意欲的に取り組むようになってきたが、「英語を言うのが難しい」「自分から話しかけたりみんなの前で自分のことを話したりするのは苦手」など、不安な児童も見られる。

- 本単元では、「世界には時差があることに興味を持つ」こと、「積極的に自分の一日を紹介したり、友達の日を聞き取ったりしようとする」ことを目標としている。

児童は時間を基準にして学校生活を送っているため、同じクラスの児童はほぼ同じ時刻に同じことをする生活を繰り返す内に、「みんな同じ生活をしている」という感覚になっていく。そこで、児童それぞれの家庭や地域での生活を題材に活動するこの単元において、自分の生活を紹介したり、友達の発表を聞いて自分の生活と比べたりすることで、違いを認め合ったり、友達の新しい面に気付いたりして、互いの理解を深めることにもつなげることができる。

また、他の国との時差を扱うことで、時間というものに対して一面的な見方ではなく、「日本では今寝る時刻だけど、そろそろ起きる時刻の国があるんだな」などと、世界に少しでも興味・関心を広げることができると考える。

- 「出会う段階」においては、児童の世界への興味・関心を高めるために、時刻の言い方を知るとともに、世界には時差があることを知らせたり、改めて確認したりする。その中で、世界の子も達だけではなく、学校では殆ど同じ生活をしている友達も、家庭や地域では同時刻にそれぞれ違うことをしていることに気付かせ、自分の一日を紹介し合い、友達の日を知りたいという意欲を持たせたい。

「関わる段階」では、担任の一日の生活を聞き、その概要を理解させる。また、生活を聞いて分かったことを発表させることで、英語を聞いて分かったという経験を積ませ、「自分の一日の生活を紹介したい」「友達はどんな生活をしているのか聞いてみたい」という意欲を持続させたい。

さらに、自分の一日の生活表を作る活動を取り入れる。この単元で扱う時刻や動作を表す表現は限られているが、自分の生活を表現するためにGTや担任に英語での言い方を尋ねて生活表を完成させることで、積極的にコミュニケーション活動をする場面をつくる。

「表現する段階」、作った生活表を紹介し合う場面では、自分との違いや共通点を考えさせながら友達の発表を聞かせることで、聞き手にもねらいを持たせるようにする。これにより、自分の生活を紹介するとともに、互いの生活に興味を持ち、違いを認め合えるようにしたい。

3. 目標

- 世界には時差があることを知り、友達の日への興味・関心を高める。
(言語や文化についての体験的理解)
- 積極的に自分の一日を紹介し合う。
(コミュニケーションの積極性)
- 時刻や生活を表す表現を使って、自分の一日を話したり、相手の一日を理解したりする。
(外国語の音声や基本的表現への慣れ親しみ)

4. 単元構成の考え方

英語ノートの本単元の構成は、時差や生活の違いに気付かせることから課題に出会わせ、一日の生活を表現する英語表現に慣れ親しませ、最終的には、慣れ親しんだ英語表現を使って積極的にコミュニケーションを図り、自分の一日を伝え合う流れになっている。そこで、「出会う段階」では、同時刻でも世界の子ども達は違うことをしていることから、同じクラスの友達は家庭や地域でどんな生活をしているのか知りたいという課題意識を連続して持たせ、「関わる段階」において、自分の一日に気付かせるため、GT や担任の生活に出会わせる。「表現する段階」において自分の一日を伝え合い、友達との違いや共通点に気づくように単元を構成する。

5. 単元構成・評価規準（全4時間 ○は本時）

段階	時	ねらい	言	コ	慣	活動 / 評価規準	表現例
出会う	1	世界には時差があることを知り、英語での時刻の言い方を知る。	◎		○	活動名「世界は何時ゲーム」 「ナンバー・ゲーム」 「何時ゲーム」 評価規準 時差や世界の子ども達の生活や行動の違いに気づき、時刻や生活、行動を表す英語表現を聞こうとしている。	one, two, three, ..., fifty-nine, sixty What time is it? It's 8:00(eight).
	2	担任の一日についての話を聞き、その概要を理解し、一日の生活を言おうとする。			◎	活動名「おはじきゲーム」 「ジェスチャー・ゲーム」 評価規準 一日の生活を聞き取り、その概要が分かり、「I get up at ~.」などの英語表現を使って一日の言い方に慣れ親しむ。	What time do you ~? I get up at ~. go to school/ eat ~/ study/ play ~/ clean/ watch TV/ go to bed
関わる	3	自分の生活表を作成し、自分の一日の言い方に慣れる。		◎	○	活動名「ステレオゲーム」 「自分の生活表作り」 評価規準 慣れ親しんだ英語表現やジェスチャーを使って、生活表を作ろうとしている。	What time do you ~? I get up at ~. go to school/ study/ go to bed
	④	生活表をもとに自分の一日を紹介し合う。	○	◎		活動名「自分の一日を紹介しよう」 評価規準 生活表をもとに自分の一日を紹介し合い、友達の生活との違いや共通点に気付いている。	My daily routine. I get up at ~. I go to school at ~. I go to bed at ~.
表現する							

6. 本時

平成22年10月29日 (金)

7. 本時の目標

- 作成した自分の生活表をもとに一日の生活を紹介し合い、友達的生活との違いや共通点に気付く。

8. 本時指導の考え方

- 本時は、前時に作成した生活表をもとに慣れ親しんだ英語表現やジェスチャーを使って自分の一日を紹介する中で、友達的生活との違いや共通点に気付くことができることをねらいとしている。まず、ウォームアップにおいてリズムチャンツを行い、時刻と一日の生活の英語表現に慣れ親しむ。その後、スムーズに一日の生活を紹介することができるようにするため、GTと担任でのデモンストレーションを行う。次に、生活表を見せながら、グループの友達に自分の一日を紹介する。紹介を聞いた後、友達的生活について分かったことを英語ノートに書かせることで、友達との違いや共通点に気付かせたい。また、グループでの紹介後、自分の生活をはっきりとした発音や上手なジェスチャーなどを使ってわかりやすく紹介できていたり、意外な生活をしたりしていた児童がグループの代表となり、全体の前でも自分の一日を紹介する。その際、友達だけでなくGTにも必ず感想を言ってもらうことで、自分の一日を友達やGTにも伝えることができたという自信を持たせたい。最後に、本時の感想と単元を通しての感想を書かせ、数名の児童に発表させることで、学びの交流をさせたい。

9. 本時の展開

過程	児童の活動	教師の支援 (担任・GT)	教材・評価場面
あいさつ (1)	1 あいさつをする。	Hello, everyone. How are you?	
ウォームアップ (9)	2 チャンツをする。 一日の生活と時刻を表す言い方を練習する。	○ジェスチャーをしたり、絵カードを見せたりしながらチャンツをする。 ○生活の動作と時刻の言い方を確認する。	・CD ・絵カード ・生活表
めあて確認 (1)	3 めあてを確かめる。	Today's aim is this.	
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; display: inline-block;"> 自分の一日を紹介し合い、友達的生活とのちがいや共通点を見つけよう。 </div>			
コミュニケーション活動 (25)	4 自分の一日を紹介しあう。 (1)GTと担任のデモンストレーションを見る。 (2)生活表を見せながら、グループの友達に自分の一日の生活について紹介する。 (3)友達の紹介を聞いて分かったことを、英語ノート p. 49 に書く。 (4)各グループの代表は、生活表を見せながら自分の一日について紹介をする。	○生活表をもとにグループで自分の生活を紹介するように告げ、GTと担任で互いの紹介の後で質問をしたり、コメントを言ったりするデモンストレーションをやってみせる。 ○発表を聞くときはただ聞くだけでなく、質問したりコメントを言ったりすることが大切であることを示す。 ○全員が生活表をもとに自分の生活についてグループの中で紹介し、その後、グループ内の一人が代表で、みんなの前で紹介するように告げる。また、友達の発表を聞いて、英語ノートに分かったことを書くように指示する。	・生活表 ・英語ノート <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 自分の一日の生活について紹介したり、自分との生活の違いや共通点に気をつけながら聞いたりしようとしているところ。 </div>

	(5) 代表の1日の生活を聞いて分かったことを発表し、コメントを言う。	○途中で言い方の分からなくなった子にアドバイスをする。 ○友達の生活との違いや共通点に気付いた子をほめる。	
振り返り (8)	5 振り返りカードに記入し、感想を交流する。		・振り返りカード
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ はっきりとした声で自分の一日の生活を紹介しようとしたか。 ・ 友達の発表を聞いて、質問したり感想を言ったりしようとしたか。 ・ 自分の一日を紹介し合っ分かったことや良かったことを書きましよう。 </div>		
あいさつ (1)	6 あいさつをする。 Thank you. See you.	That's all for today. Good-bye. See you.	

● 本時活動の詳細

「自分の一日を紹介しよう」

○ 進め方

- ① 6人ずつのグループに分かれる。
 - ② 一人ずつ生活表を見せながら、グループの中で自分の一日について紹介する。
 - ③ 聞き手は感想や質問を言い、友達の発表を聞いて分かったことを英語ノート p.49 の吹き出しに書く。
 - ④ 全員が紹介し終わったら、はっきりとした声やジェスチャーなどを使ってわかりやすく紹介する。意外な生活をしていたと思う友達を、グループの代表に決めさせる（希望者がいた場合はその児童を代表にする）。
 - ⑤ グループの代表は、クラス全員の前で②のように自分の一日について紹介する。
 - ⑥ 聞き手は、友達の発表を聞いて質問したり、感想を述べたりする。
- ※ グループ内で発表するとき、GTと担任は他の児童と一緒に聞き手となり、早寝早起きをしたり家庭学習をしたり、家の手伝いをしたりしていることなどを発表のたびにほめたり驚いたりして、児童の発表に興味を持って聞いていることを示す。
- ※ 1人の児童の紹介が終わったら、GTや担任もその紹介内容に関することについて質問することにより、紹介内容をみんなのものにするようにする。